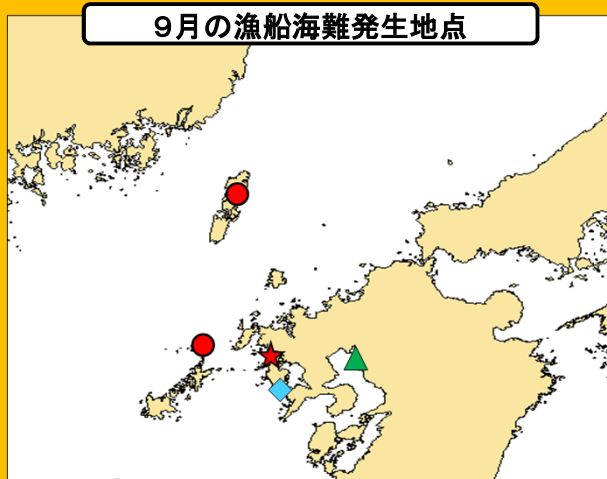


平成29年9月 七管内漁船海難 計5隻

漁船海難隻数 (速報値)		
乗揚	●	2
衝突	★	1
機関故障	▲	1
推進器障害	◆	1
合計5隻		

	県別内訳	
	9月	H29累計
山口県	0	9
福岡県	1	12
佐賀県	0	4
長崎県	4	36
大分県	0	8

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



バッテリーの爆発事故に注意!

今般、管内において、**バッテリーあがりの応急作業中、バッテリーが爆発し**、作業していた方が顔に怪我をするという小型船舶の事故が発生しました。

今回の事故は、自動車のバッテリーあがりのときのように、他の船からブースターケーブルを接続してエンジンをかけようとして、なかなか起動しなかったため何度かスターターを回したところ、突然爆発したとのことで、詳しく調査したところ、**バッテリー液が不足したまま使用していたこと**、さらに、**応急作業の際、12V仕様と24V仕様のバッテリーを接続していたことがわかりました。**

このように、**バッテリー液が不足し金属部分が露出した状態で使用したり、異なる電圧のバッテリーを接続したりすると、激しいスパークが発生し、引火爆発の原因となります。**正しい知識を身につけて、正しい取扱いを心がけましょう。



七管区海難防止キャラクター「どんちゃん」

1. バッテリー液が不足していると...

規定量以下の状態で使用を続けると、バッテリーの金属部分が露出し、劣化が進みます。



2. 劣化部分から火花が発生し...

劣化がさらに進むとスパーク(火花)が発生することがあります。



3. 内部のガスに引火する。

スパークがバッテリー内部に溜まっている水素ガスに引火して爆発することがあります。



爆発したバッテリーの一例です



出典元：一般社団法人 電池工業会 <http://baj.or.jp>

知っていますか? 緊急情報配信サービス

- 灯台で観測したリアルタイムな気象情報
 - 航行に支障をきたす流木などの漂流物情報
 - 竜巻目撃情報・突風に関する緊急情報
- これら「海の安全情報」をメールで配信しています!

事故防止に役立つ情報です!

登録は無料です。メール通信料がかかります。



海の安全情報
メール配信登録



平成30年11月1日をもって、灯台150周年を迎えます。